

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成 30 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日から 平成 32 年 3 月 31 日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	359	181	50.4%	
	延べ利用者数 (人)	429,800	220,954	51.4%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	359	181	50.4%
		自主事業 (回)	-	-	-%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	-	-	-%
		利用料金収入(売上) (円)	349,500,000	180,347,005	51.6%
		自主事業収入 (円)	-	-	-%
		その他の収入 (円)	12,630,000	6,486,601	51.4%
	収入計 (円)		362,130,000	186,833,606	51.6%
	支出	人件費 (円)	141,510,000	69,647,247	49.2%
		維持管理経費 (円)	108,300,000	51,943,682	48.0%
		自主事業関係経費 (円)	-	-	-%
		その他の支出 (円)	108,320,000	54,995,264	50.8%
	支出計 (円)		358,130,000	176,586,193	49.3%
収支 (収入-支出) (円)		4,000,000	10,247,413	256.2%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：181日 休館日2日 利用者：220,954人 (前年同期比：14,125人減)	【事業の実施状況について】 前年度の当期間は、6月までカフェを営業していたが(利用者数5,639人)、今年度は休止していること、また7～9月の悪天候による影響も大きく、入館者数の減少を余儀なくされた。なお10月以降は、目減りもやや落ち着いてきている。	【収支状況について】 売上高は、カフェの営業休止による減少もあるが、温泉部門による利用者減少もあり、前年を下回った。なお、今後は中庭でのイベント開催及び、集客対策等を推進し、全部門で業績改善に努める。
---	---	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 利用者数は減少したが、年間計画に沿った事業を実施し、開館日数や利用者数の確保に努めていることは、評価できる。	【事業の実施状況について】 夏期中の悪天候により利用者減となったが、積極的に事業実施を行っており評価できる。	【収支状況について】 収入は昨年同期実績を下回っているが、人件費や維持管理費の削減を図っており、評価できる。
--	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正 ・要改善

受付等の業務	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている		日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	77人	人員配置計画、実地、出勤簿	78人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	3回/年	研修マニュアル	下期予定 3回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30%	人員配置計画	46.2% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

今年度も、昨年同様に飲食業の人手不足の常態化は当社にも影響し、カフェの営業を休止している状況にある。その中、人件費・経費の抑制等を実施しつつ、直売所取扱品の拡大及び臨時イベント売店の設置を推進し、売上高の確保に努め、上半期においては売上高 186,193 千円、経常利益 10,247 千円で推移した。なお、今後は顧客満足度の向上は勿論ではあるが、キメ細かな経営戦略の立案と推進により、収益向上に努める。

市による所見（指摘事項など）

上半期については、悪天候の影響もあり、利用者が減少している。また、昨年よりカフェの営業休止による収入減も引き続いている状況である。人手不足に苦慮しており、経費削減を行っているが、今後の運営のためにも改善が必要である。直売所における取扱品の拡大や各種イベントに参加するなど、積極的に事業を展開していることは、評価できる。今後も市及び地域等と連携しながら、引き続き秋川溪谷観光プロモーションの主要な役割を果たすことを期待する。